

| 科目コード  | 記号   | 科目名                            | 学年  | 単位・時間 | 必修・選択         | 授業形態                             | 単位種別 |
|--|--|--------------------------------|---|-------|---------------|----------------------------------|------|
| 2473   | BS04   | 情報管理論 : Information Management | 3B  | 2・90分 | 必修            | 講義・通年                            | 履修単位 |
| 教員名  |  | 木村 弘 : KIMURA Hiroshi          |   |       |               |                                  |      |
| 授業概要   | <p>企業における経営資源のなかでもとりわけ情報に注目する。企業の競争優位は情報の経営資源をいかに活用するかによって決まるため、適切な情報管理が求められている。そこでこの授業では、企業の経営活動において、情報がどのように位置づけられ、どのように活用されているのかについて考えていく。そして後期の後半では、これらをもとにして、情報が活用される組織についてさらに究明していく。</p> |                                |   |       |               |                                  |      |
|  | 到達目標   |                                |   | 評価方法  |               |                                  |      |
| (1)企業における情報の経営資源について理解する。<br>(2)企業が情報を活用することでいかにして競争優位を高めているのかを理解する。<br>(3)情報の流れがスムーズな組織について考察できる。 |  |                                | ①定期試験80%(前期40%, 後期40%).<br>②レポート内容20%として評価する。 |       |               |                                  |      |
| 学習・教育目標  |  | (C)②                           | JABEE基準1(1)                                   |       |               |                                  |      |
| 授業計画   | 前期   |                                | 後期  |       |               |                                  |      |
|  | 回  | 項目                             | 内容  | 回     | 項目            | 内容                               |      |
|  | 第1   | ガイダンス                          | 情報管理論の概要を説明する。                                | 第16   | 集中化           | 企業がある事業に集中することについてふれる。           |      |
|  | 第2   | 企業における情報                       | 企業における情報の流れについて説明する。                          | 第17   | アウトソーシング      | 基幹事業以外を外注することの是非について考える。         |      |
|  | 第3   | 仕組の競争                          | 商品による差別化と仕組による差別化を考える。                        | 第18   | 企業の伸縮性        | 外部化による企業伸縮性の効果にふれる。              |      |
|  | 第4   | 情報技術の発達                        | 情報技術の発展と企業間の競争についてとらえていく。                     | 第19   | 構造改革          | これまでの事業システムが通用しなくなった背景をとらえていく。   |      |
|  | 第5   | 事業システムについて                     | モノの流れについて考える。                                 | 第20   | 伝統的コンセプトの陳腐化  | コンセプトの陳腐化の発生について考える。             |      |
|  | 第6   | 仕組の調整                          | 各活動の調整の重要性についてふれる。                            | 第21   | 人間的・組織的要素の重要性 | 事業システムにおける人的要素や組織の重要性について考える。    |      |
|  | 第7   | 覇権を握る企業                        | 時代の変化とともに、覇権を握る企業が変化していることをとらえる。              | 第22   | 情報の価値         | 情報はそのものが価値ではないことを指摘する。           |      |
|  | 第8   | 新しい事業システム                      | ITを活用した事業のシステムを考える。                           | 第23   | 価値創造のステップ     | 情報から価値を生み出すステップを説明する。            |      |
|  | 第9   | スピード経営                         | 翌日配送に代表されるスピーディな経営活動についてふれる。                  | 第24   | POSの功罪        | 万能と思われがちなPOSの弱点について考える。          |      |
|  | 第10  | コンビニとよろず屋の違い                   | コンビニのITを駆使した側面をとらえる。                          | 第25   | 組織風土の重要性      | 事業システムの基盤となる組織の重要性について再考する。      |      |
|  | 第11  | スピード経営と大企業                     | 大企業のスピード低下について説明する。                           | 第26   | 経路依存性         | 事業システムが一朝一夕に構築できないことについて説明する。    |      |
|  | 第12  | プロセスの短縮化                       | 生産から小売までのスピード化についてふれる。                        | 第27   | 持続的な競争優位      | 単発的な優位で終わらせない課題をどうクリアしていくのかを考える。 |      |
|  | 第13  | 組み合わせの経済                       | 情報の多重利用について説明する。                              | 第28   | 顧客の声          | 顧客の声をどのように事業に反映させるべきなのかを考える。     |      |
|  | 第14  | 異質な情報の活用                       | 仕事の幅を広げることによるメリットを考える。                        | 第29   | 次世代の競争        | 今後の企業間競争について考える。                 |      |
| 第15  | まとめ  | 前期のまとめを行う。                     | 第30   | まとめ   | 後期のまとめを行う。    |                                  |      |
| 関連科目   | 経営学概論, 経営管理論, 経営組織論  |                                |   |       |               |                                  |      |
| 教科書  | 加護野忠男『<競争優位>のシステム』PHP新書, 1999年。  |                                |   |       |               |                                  |      |
| 参考書  | 講義で適宜紹介していく。   |                                |   |       |               |                                  |      |
| 授業評価・理解度   | 最終回到授業評価アンケートを行う。  |                                |   |       |               |                                  |      |
| 副担当教員  |  |                                |   |       |               |                                  |      |
| 備考   | 学生の積極的な授業への参加を期待する。  |                                |   |       |               |                                  |      |